

第2学年2組 音楽科学習指導案

指導者 高橋 敦子

1 題材名 「はくにのって リズムをうとう」

教材名 「この空とぼう」「山のポルカ」「リズムあそび」「いるかはざんぶらこ」

2 題材について

(1) 題材観

本題材は、学習指導要領1目標(2)「基礎的な表現の能力を育て、音楽表現の楽しさに気付くようにする」表現(2)器楽ウ「身近な楽器に親しみ、音色に気を付けて簡単なリズムや旋律を演奏すること」に焦点をあてて学習を展開する。

児童はこれまでに、拍のまとまりや拍子の違いを感じ取ったり体を動かしながら歌ったり聴いたりする活動を行ってきた。また1年生の時には「じゃんけんぽん」の言葉から生まれるリズムや、わらべ歌「げんこつやまのたぬきさん」の7つ打ちのリズムに親しんできた。さらに、拍の流れによって、基本的なリズムパターンを表現する活動を経験してきている。

このような経験を踏まえて、本題材ではさらに、それぞれの拍子を感じ取りながら表現したり、リズム譜を見ながら演奏したりする活動を通して、これまでに身に付けてきた拍子やリズムに対する感覚、表現の技能をより育てていきたい。そのために、2拍子と3拍子の拍子の違いや特徴を感じ取って、体を動かしながら歌ったり聴いたりする活動を多く取り入れ、これまで身に付けてきた拍の流れに対する感覚をよりいっそう高めるとともに、拍子感を養えるようにしていきたい。

(2) 児童の実態 (男子15名、女子10名、計25名)

① 音楽の授業は好きですか？

とても好き (18)	・音に合わせて体を動かすのが楽しい (8)	・歌うのが楽しい (7)
好き (3)	・歌うのが好き (5)	・楽しい事がたくさんあるから (3)
ふつう (4)	・音楽を聴くのが楽しい (1)	・リズムの手拍子が楽しい (1)

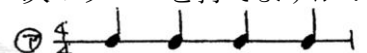
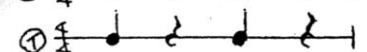
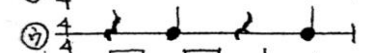
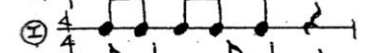

② 音楽の中でどんな活動が好きですか？

・音に合わせて身体を動かすこと (17)	・歌うこと (4)	・いろいろな楽器を使うこと (2)
・きれいな歌を聴くこと (1)	・鍵盤ハーモニカをふくこと (1)	

③ 2拍子と3拍子の違いを聞きとることができますか？ (5問の聴き取り調査)

できる (11)	5問中3問くらい (13)	わからない (1)
----------	---------------	-----------

④ 次のリズムを打てますか？

	正	誤
㊦ 	(24)	(1)
㊧ 	(24)	(1)
㊨ 	(24)	(1)
㊩ 	(23)	(2)
㊪ 	(20)	(5)

今まで何回か行ってきたリズム打ちなので、ほとんどの児童が正しく打つことが出来た。

⑤ 先生が打ったリズムの順番を答えましょう。

正解 (1 9) 誤 (6)

4分音符と8分音符の違いが、よくわからない児童がいた。

⑥ 次の言葉をリズムで表してみましょう

<ロケット>

正	タタッタ (5) タタンタ (1 3) ♪ ♪ ♪ ♪ ♪ (1 1) ♪ ♪ ♪ (3)
誤	タタタ (1) タンタンタ (2) タンタンタタン (1) タンタ (1) タタンタタ (1) ♪ ♪ ♪ (3) ♪ ♪ ♪ (1) ♪ ♪ ♪ ♪ ♪ (1) ♪ ♪ ♪ ♪ ♪ (1) 無回答 (1)

<こいのぼり>

正	タタタタタ (7) タタタタタン (5) タンタンタンタンタン (3) タンタタタン (1) ♪♪♪♪♪ (4) ♪♪♪♪♪ (3) ♪♪♪♪♪ (6) (1)
誤	タタンタタン (2) タタタンタ (1) タタタタン (1) タンタンタンタン (1) 無回答 (3) ♪♪♪♪♪ (1) ♪ ♪ ♪ (1) ♪ ♪ ♪ (1) ♪ ♪ ♪ ♪ (2) ♪♪ ♪ ♪ ♪ (1) 無回答 (5)

<ホッチキス>

正	タッタタタ (3) タッタタタン (2) タンタタタ (2) タンタタタン (1) ♪ ♪ ♪ ♪ (1) ♪ ♪ ♪ ♪ (1)
誤	タタタタ (1 2) タタンタタン (1) 無回答 (4) ♪ ♪ ♪ ♪ (1) ♪ ♪ ♪ ♪ ♪ (1) ♪ ♪ ♪ ♪ (1) 無回答 (1 0)

⑦ 歌いながらステップを踏むことはできますか？

できる (2 1)	だいたいできるがずれてしまう時がある (4)	できない (0)
-----------	------------------------	----------

⑧ ステップを踏みながら歌うことは好きですか？

とても好き (1 8)	・ステップを踏むと楽しい (1 5) ・リズムにのると楽しい (2)
好き (1)	・ノリノリで歌える ・友達と一緒にやると楽しい
ふつう (4)	・おもしろくて楽しい ・気持ちが変わる (前向きになる)
あまり好きではない (1)	・ころびそうになる ・途中でずれてしまう ・あまり楽しくないから
きらい (1)	・歌いながらステップするのはいやだから

<考察>

本学級の児童は、歌や楽器の演奏を心から楽しみ、意欲的に音楽の学習にとりくむ児童が多い。リズムあそびでは、リズムに合わせて体を動かすリトミックは大好きで、曲に合わせてステップを踏んだり手あそびをしたり、楽しく活動している。

③の2拍子と3拍子の違いは、「さんぽ」を3拍子と答える等まだよくわかっていない児童がかなりいた。(ふしの3音のまとまりを3拍子と思ったらしい。)

⑤のリズムを聞きわける問題では、4分音符と8分音符の違いがまだはっきりとわからなかったようなので、本題材ではしっかりと意識づけていきたい。

⑥の言葉をリズムで表すことは、とても難しいようだった。逆に、リズムに言葉をあてはめる方法も考えていきたい。

⑨では、ステップを踏んで歌うのはとても楽しいと答える児童が多い中、どうしても抵抗があるという児童も見られた。無理に強制はしないで、ステップしながら歌う楽しさを感じ取らせていきたい。

これらの実態から本題材では、4分音符や8分音符などを使った基礎基本のリズム譜に親しみ、2拍子の拍ののって、自分の選んだリズムを楽しく演奏できるようにしていきたい。

(3) 指導観

この題材では、それぞれの拍子を感じ取りながら表現したり、リズム譜を見ながら演奏したりする活動を通して、これまでに身につけてきた拍子やリズムに対する感覚、表現の技能をより育てていくことができるように学習を進めていきたいと考える。また、2年生からは楽典事項の学習が始まるので、活動を通してそれらを理解させたり、リズム譜に慣れさせたりしていきたいと考える。

「この空とぼう」では2拍子の特徴を感じ取り、リズムを分担して、拍の流れののって打つことができるようにしていきたい。

「山のポルカ」では新たに8分音符と8分休符を覚え、リズム譜を見ながらリズム唱したり、演奏したりする。リズム伴奏が、より細かくなっているのので、2拍子の拍の流れののって演奏できるようにしていきたい。

「リズムあそび」では、リズムのカードを使っていろいろなリズムの組み合わせ方を工夫させていきたい。つくったリズムを言葉で表現したり手拍子で打ったりして、友達と一緒に楽しく活動させていきたい。

「いるかはんぶんこ」では3拍子の拍の流れののって楽しくリズム打ちができるようにしていきたい。

3 題材の目標

- ・リズム譜に親しみ、拍子を感じ取りながら、簡単なリズムを演奏することができるようにする。
- ・リズム伴奏ののって、歌ったり楽器を演奏したりすることができるようにする。

4 題材の評価規準

ア 音楽への関心・意欲 ・態度	イ 音楽表現の創意工夫	ウ 音楽表現の技能
範奏を聴いたり、リズム譜などを見て演奏したりする学習に進んで取り組もうとしている。	リズム、速度、拍の流れを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、楽曲の気分を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するかについて自分の考えや願いをもっている。	リズム譜を見て、拍の流れののりながら楽器を演奏したり、反復、問いと答えなどの音楽の仕組みを生かしながら簡単なリズムで音楽をつくったりしている。

5 題材の指導計画及び評価計画（9時間扱い）

次	時	○学習内容・主な学習活動	学習活動における具体的評価規準	共通事項
1 次	1 時	<p>「この空とぼう」（歌唱・器楽）</p> <p>○2拍子の特徴を感じ取りながら歌ったり、リズムを打ったりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・範唱に合わせて体を揺らしながら聴き、2拍子の拍の流れを感じ取って歌う。 ・2拍子を感じ取ってリズム打ちをする。 	<p>ア 2拍子の拍の流れにのって、楽しく歌おうとしている。</p> <p>イ 2拍子を感じ取ってリズムの打ち方を工夫している。</p>	<p>拍の流れ</p> <p>リズム</p>
	2 時	<p>○リズム譜を見て打楽器で演奏する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4分音符と4分休符を学習する。 ・上と下のリズムを分担して手拍子や打楽器でリズム打ちの練習をする。 	<p>ア 進んでリズム唱したり楽器で演奏したりしようとしている。</p> <p>ウ リズム譜を見て、拍の流れにのりながらリズムを正しく演奏している。</p>	
2 次	3 時	<p>「山のポルカ」（歌唱・器楽）</p> <p>○2拍子の拍の流れを感じ取りながら、聴いたり歌ったりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8分音符と8分休符を学習しリズム譜を見てリズム唱をする。 ・フレーズごとに交互唱をしたり鍵盤楽器で分担奏をしたりしながら、2拍子の拍の流れにのって演奏する。 	<p>ア 拍の流れやフレーズを感じながら、楽しく歌おうとしている。</p>	<p>速度</p>
	4 時	<p>○リズム譜を見て、リズム伴奏を演奏する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手拍子やひざ打ち、足などを使って2人1組になって分担奏の練習をする。 ・鍵盤楽器で1・3フレーズ目と2・4フレーズ目に分かれて分担奏をする。 	<p>ア リズム譜に関心を持ち、進んでリズム唱をしたり楽器で演奏したりしようとしている。</p> <p>ウ 拍の流れにのって、旋律に合わせて楽器を演奏している。</p>	<p>↓</p> <p>↓</p> <p>↓</p>

	5時	<p>○リズム伴奏にのって演奏する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・互いに聴き合って旋律とリズム伴奏を合わせて演奏する。 	ウ 拍の流れにのって、旋律に合わせて楽器を演奏している。							
3次	6時	<p>「リズムあそび」 (器楽・音楽づくり)</p> <p>○リズムを組み合わせて2拍子を感じながら表現する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれのリズムパターンを言葉で表現したり、手拍子で打ったりする。 ・リズムのカードを使っているいろいろなリズムの組み合わせ方を工夫する。 ・「キ」のリズムをつくって、組み合わせを楽しみながら演奏する。 	<p>ア リズム譜に関心を持ち、楽しんでリズムあそびをしている。</p> <p>イ リズムの組み合わせを工夫して、じぶんのリズムをつくっている。</p>							
	7時	<p>○グループに分かれてリズムをリレーしたり、友だちとリズムを重ねて演奏したりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音色を考えて楽器の組み合わせを工夫する。 ・グループごとに発表してお互いに聴き合う。 	ウ 音楽の仕組みを生かして簡単なリズムで音楽をつくっている。							
4次	8時	<p>「いるかはざんぶらこ」 (歌唱・器楽)</p> <p>○3拍子の特徴を感じ取りながら、歌ったりリズムを打ったりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・範唱に合わせて体を揺らしながら聴き、3拍子の拍の流れを感じ取って歌う。 ・歌に合わせて3拍子のリズム打ち打ちを工夫する。 	<p>ア 3拍子の拍の流れにのって、楽しく歌おうとしている。</p> <p>イ 3拍子を感じ取って、歌い方やリズムの打ち方を工夫している。</p>							
	9時	<p>○歌に合わせてリズム伴奏をし、拍の流れにのって演奏する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上と下のリズムを分担して手拍子や打楽器で3拍子の流れにのってリズムを打つ。 	ウ リズム譜を見ながら、3拍子の拍の流れにのって楽器を演奏している。							

6 本時の学習 (6/9)

(1) 本時の目標

- ・リズムカードを自由に組み合わせてリズムをつくることができる。
- ・拍の流れにのって、リズム打ちをすることができる。

(2) 視点とのかかわり

【視点2】 思いや意図を表現する力を育むために

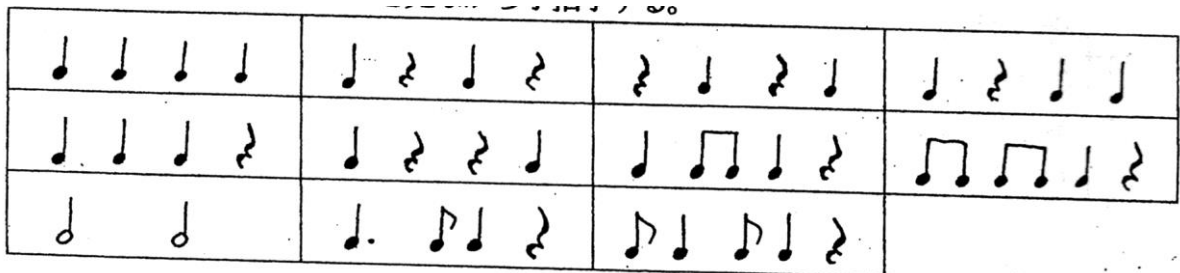
① リズムに親しむ活動

毎時間の導入時にリズムあそびを取り入れて、抵抗なくリズム譜に親しめるようにしていきたい。手拍子だけでなく体全体を使った活動を取り入れて楽しく取り組めるようにしていきたい。毎時間の積み重ねが大切だと考えるので、さまざまな活動を通してリズムに親しめるようにしていきたいと考える。

<リズムあそびの例>

- ・リズム打ち (本時導入)

リズムフラッシュカードを見ながら手拍子する。



- ・名前リレー (1年～)

〇〇さん「はい」 〇〇さん「はい」… 拍打ちして、リズムにのりながら次の人の名前を呼ぶ (初めは出席番号順で、慣れてきたら順不同で円になって、拍打ちの速さもはやくしてやってみる)

- ・タン、ウンあそび

「タンウンタンウン〇〇〇・」… 〇のところに好きなリズムを入れてリレーしていく。(初めはカードを見ながら、慣れてきたら即興で、なるべく前の人と違うリズムを入れる)

- ・歌に合わせて体を動かすあそび

「おおまきばはみどり」(肩たたきをしながら歌う…8拍→4拍→2拍→1拍→手拍子→ホイ)

「おおきなくりの木の下で」…ジェスチャーしながら歌う (だんだん速く)

「おちゃらかほい」…ジャンケンを含んだ手あそび

- ・リズムを重ねるあそび

「ゲー・チョキ・パー」…ゲー (ゲー● ゲー● ゲーゲー ゲー ●)

チョキ (● チョキ● チョキ● チョキチョキ●)

パー (パシパー パシパー パシパー パー ●)

② 学習カードの活用や掲示物の工夫

各自にリズムカードを用意し、自分のリズムをつくりやすくするようにしたい。また、リズムごとに用紙の色を変えて、より分かりやすくしたい。選んだ3枚のカードを台紙に固定して、並べたまま移動できるようにし、友だちとの活動の時に使いやすいようにしていきたい。黒板には拡大リズムカードを掲示し、リズムの確認や、つくったリズムを紹介する時に活用したいと考える。

<リズムカード>

ア	イ	ウ	エ
ドン カカ	(ウ) ド ドン	みこした"	ワッ ショイ
イ	カ	キ (自分のつくったリズム)	
ドン (ウ)	ド コ ドン		

(3) 展開

学習内容と学習活動	<div style="border: 1px dashed black; padding: 2px; display: inline-block;">学習活動における 具体的評価規準</div> ○ 教師のかかわり ☆ [共通事項]	備考
1 今月の歌「友だち賛歌」を歌う。 2 リズムあそびをする。 ・リズム打ち (リズムを読みながら、手拍子で打つ) ・リズムパターン⑦～⑩のリズムを打つ 3 本時のめあてをつかみ活動する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> じぶんのリズムをつくって、リズムうちをしよう </div>	○4拍子の流れにのって、はずんだリズムで歌えるよう助言する。 ○楽しくリズム譜に慣れることができるように速度に変化をつけながら行う。拍を感じて手拍子が出来たら、その都度賞賛する。 ○それぞれのリズムパターンを拡大して掲示し、リズム譜に親しめるよう支援する。 ☆リズム、速度、拍の流れ <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> ア リズム譜に関心を持ち、楽しんでリズムあそびをしている。(表情・態度観察) </div>	拡大歌詞 リズムフラッシュカード リズムパターン⑦～⑩のフラッシュカード
4 ⑦～⑩のカードを自由に組み合わせて、リズムをつくる。	○4人の班になって活動するようにし、お互いのリズムを聴き合うよう助言する。	個人用リズムカード(7種類×3枚)

<ul style="list-style-type: none"> ・カードを3枚選ぶ ・並べる順番を決める ・手拍子で打つ (リズムがつかみにくい時には言葉で表現する。自分の考えた言葉で表現してもよい) ・Ⓢのリズムをつくって組み合わせさせてもよい ・リズムが出来上がって手拍子で打てるようになったら、カスタネットやタンブリンなどを使ってリズム打ちをする。 	<p>○終わる感じにするため、最後のカードは「タン・ウン」にするとよいことを確認する。</p> <p>○カードを選び終わった頃、メトロノームで2拍子の拍を示し、拍の流れにのってリズムが打てるように支援する。 ☆リズム、速度、拍の流れ</p> <p>○Ⓢのリズムも、2拍でつくるということを確認する。</p> <p>○Ⓢのリズムを、あらかじめ何種類か用意しておき、使いたいカードを選べるようにしておく。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;"> イ リズムの組み合わせを工夫して、じぶんのリズムをつくっている。(態度観察) </div>	<p>メトロノーム</p>
<p>5 自分が選んだリズムを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに発表する (4人のリズムをつなげて発表する) 	<p>○リズムの選び方に工夫が見られるものを取り上げて、友だちの作品の良さに気付くことが出来るように支援する。</p> <p>(例)・同じリズムを2回以上繰り返し使っている。 ・自分なりにリズムを言葉で表現している。</p>	<p>個人用リズムカード</p>
<p>6 次時の活動を知る。</p>	<p>○教師が拍をとりながら、一緒にリズムを口ずさむなど、拍の流れにのってリズムが打てるように支援する。</p> <p>○次時はリズムの重ね方を工夫してリズムあそびをすることを伝える。</p>	<p>カウベル</p>